



# 春風通信

Haru kaze Communication

## コロナ禍での春田の取組み・実績



小さな声を聴く力！  
つながれば、希望が生まれる。



依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いています。とりわけひとり親家庭など立場の弱い方にしわ寄せが押し寄せ、孤立化し困窮している状態が明らかとなっています。また飲食業をはじめ多くの事業者が先の見えない環境に苦慮されています。このような中、市民の声を聴き公明党のネットワークを存分に活用し、課題解決に臨んでいます。

ネックは“予約段階”と明確にし、どの施設で予約ができるのか一覧を公表するなどの具体的な緊急要望を5月21日に大西市長に提出しました。結果6月初旬から市のホームページに予約可能医院が掲載され、マスコミにも協力いただき情報発信を行いました。これで高齢者の方の円滑な接種が進んでいます。

現在、国のワクチン供給が遅れたため、64才以下の方の接種が少し遅れていますが、希望する方のワクチン接種が円滑に進むよう常にチェックし、進めて参ります。

### 孤独・孤立の実態調査し新事業が開始!

ひとり親家庭など困難さが増し孤独な状態で苦しんでいる方々の声を公明党のネットワークで政府に届けました。ひとり親家庭の支援を行っている民間団体からも行政の助けが必要との声があり制度化を要望。国の迅速な対応情報などを市に届け、具体的な財源を示し支援を訴えました。結果、6月議会で「つながりの場づくり緊急支援事業」として予算化され、子ども食堂や居場所づくり、学習支援、相談支援を支えていただいている団体を補助する制度が開始されました。

### ワクチン接種・予約可能な施設を公表!

65才以上の方へのワクチン接種の予約がスタートした5月中旬、集団接種の予約がパンク状態になり「電話がぜんぜん繋がらない、100回も連絡した」「ようやく電話が繋がったと思ったら既に予約が一杯と断られた」などお叱りの声を沢山いただきました。直ぐに市のワクチン接種チームの責任者から正確な情報を聞き、ワクチンを打つ体制は整備できているもの、「どこで接種の予約ができるのか分からない」ため、混乱を招いていることが分かりました。ポトル

### 高松市の新型コロナ対策の情報

新型コロナ感染症への対策やワクチン接種の情報など高松市のホームページで最新の情報を見ることができます。

### 高松市新型コロナワクチン接種コールセンター

☎087-887-7547 または 0570-076-059 ・相談内容:接種券の再発行など  
・受付時間:毎日(祝日含む)午前9時から午後6時

### 香川県新型コロナワクチン専門相談コールセンター

☎0570-009-550 ・相談内容:副反応に関すること、専門的な内容など  
・受付時間:毎日(祝日含む)午前9時から午後5時



## 活動報告

4月8日

### 市長・教育長への緊急要望を提出



会派6人で、生理の貧困問題などを解決するために「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」を提出し、対策を求めました。

4月17日

### 香川県生活衛生同業組合との意見交換会に出席



公明党香川県本部において山本博司参議院議員とともに、最も影響を受けている香川県生活衛生同業組合(飲食業やホテル・旅館業などが加盟)との意見交換会に出席。コロナ禍における影響とご要望をお聞きました。

## 会計報告 [政務活動費]

2020年4月~2021年3月

経費の区分	金額
1 調査研究費	107,265
2 研修費	3,990
3 広報費	513,092
4 広聴費	0
5 要請・陳情活動	0
6 会議費	23,000
7 資料作成費	64,834
8 資料購入費	30,912
9 人件費	0
10 事務所費	0
合計	743,093円
返還金	216,907円

## 市民相談件数

2021年1月~6月 59件 [累計 1,872件]

相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。



オフィシャルサイト

<http://www.haruta.jp>

E-mail: [info@haruta.jp](mailto:info@haruta.jp)



春風通信 はるかぜつうしん Vol.17

発行者:高松市議会議員 春田敬司 発行日:2021年7月  
連絡先:高松市香西東町14番地8 電話:087-881-6411

## 主な活動実績

2021年1月~6月

- 1月17日 高松市成人式に出席
- 12日 高松市市民防災講演会に参加
- 24日 地域づくりチャレンジ塾に参加
- 2月7日 第4回弦打さわやか音楽会に参加
- 11日 香川県図書館学会研究発表会に参加
- 13日 教育フォーラムin高松に参加
- 18日 第2回高松市総合教育会議を傍聴
- 20日 地域づくりチャレンジ塾みんなの学園祭に参加
- 3月10日 **第1回高松市定例議会**
- ~24日 12日に質疑で登壇
- 17日 GIGAスクール時代の情報モラル教育を考える会に参加
- 4月8日 「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」を市長・教育長に提出
- 17日 香川県生活衛生同業組合との意見交換会に出席
- 5月14日 **第2回高松市臨時議会**
- 15日 NPO法人虐待防止ネットワークかがわ総会に参加  
公明党ワクチン接種本部第2回全国対策本部会議に出席
- 21日 **ワクチン接種における緊急要望を市長に提出(写真1面)**
- 23日 ひとり親パートナーズ活動報告会に参加
- 6月10日 **第3回高松市定例議会**
- ~25日 17日に一般質問に登壇
- 19日 私からはじまるコミュニティワークVOL.3に出席
- 25日 NPO法人アーキペラゴ第21回総会に出席
- 27日 高松市総合防止訓練に参加



高松市議会議員  
**春田 敬司**  
はるか けいし



オフィシャルサイト

<http://www.haruta.jp>

E-mail: [info@haruta.jp](mailto:info@haruta.jp)



春風通信 はるかぜつうしん Vol.17

発行者:高松市議会議員 春田敬司 発行日:2021年7月  
連絡先:高松市香西東町14番地8 電話:087-881-6411



# 令和3年第1回定例会 (3月12日)での質疑

コロナ禍にあって対応すべき事項をとりあげ、デジタル社会への対応と感染症対策を考慮した避難所運営について、具体的な提案を行いました。



## 1. デジタル社会への対応について

### (1) デジタル・シティズンシップ教育の推進

これまでの情報教育は「あれをやってはダメ、これをやってはダメ」と子どもや教師を守るために規制することに重きが置かれていた教育でした。デジタル社会に生きていく子どもたちにとって必要な学びへと転換するために「デジタル・シティズンシップ教育」の考え方を、教師、家庭が共有できるよう、研修制度の見直しなどを提案しました。

新たなオンライン研修が開始されました!

### (2) コミュニティセンター業務のデジタル化を推進する考え

高松市ではデジタル社会にむけ、行政事務の見直しや手続きのデジタル化への対応が始まっています。しかし暮らしに身近な地域コミュニティセンターの業務がその取り組みに含まれていないことから、デジタル化を支援するよう提案しました。

新規事業として実施が決定! (下記参照)

### (3) 日常生活用具給付事業を拡充する考え

香川県網膜色素変性症協会の方からご相談を受け、現在の身体障害者などに給付している日常生活用具給付事業に、タブレット端末を追加して欲しいとの要望を受けました。解決策を調査し、八王子市の事例を通し、制度の見直しを提案しました。

## 2. 感染症対策を考慮した避難所運営について

### (1) 市有施設における、より多くの避難所の確保に向け、関係する局と具体的協議を行う考え

地域の避難所で感染症対策を講じようとする、収容予定人数が半分に減ってしまいます。多くの避難者を受け入れるためには体育館だけではなく、学校の校舎や放課後児童教室、保育所や幼稚園などで受け入れが出来るよう、担当部局が異なる全ての市有施設で、具体的な協議を行うよう求めました。

### (2) 災害時指定職員の主体的活動を促進する考え

大雨などの洪水による避難所の開設は、市の職員(災害時指定職員)が避難所を開設することとなっています。河川氾濫など被害が甚大になることが予測されると、地域にも協力依頼をし、対応する事になっていることから、主体者として感染症対策を考慮した避難所運営が出来るよう求めました。



# 令和3年第3回定例会 (6月17日)での一般質問

公明党が全国で行った、コロナ禍における孤独・孤立実態調査や寄せられた声をもとに、市の取組みを一步推し進める提案を行いました。



## 1. 市民協働の推進について

- (1) 地域活動を活性化していくため「協同労働」を支援していく考え
- (2) 市民活動センターの現状及び課題と今後の取組み

公明党が2001年、当時の坂口厚生労働大臣の時から推し進めてきた「労働者協同組合法」が昨年12月に制定されたことを受け、高松市でも「協同労働」を支援することと、それを支える市民活動センターを再び民営化し、充実させるよう見直しを提案しました。

## 2. きめ細やかなセーフティネットの構築について

- (1) 今後、保育・教育施設において医療的ケア児等コーディネーターと連携し、医療的ケア児の受入れ体制の充実を図る考え

平成30年に提案し実現した、医療的ケア児が保育園などで安全に受け入れる体制づくりは着実に進んでいるが、行政の縦割りで取り残されている、私立幼稚園などでも受け入れられるよう求めました。また訪問調査で判明した、医療的ケア児等コーディネーターによる早期から大人になるまでの切れ目のない見立て(アセスメント)が、本人はもとより家族の仕事など自立に繋がることを訴え、体制の充実を求めました。

受入れ体制の充実が図られることに!

## (2) ひとり親家庭への支援を充実する考え

コロナ禍にあって深刻な影響を受けているひとり親家庭への支援の充実を求め、子ども食堂や居場所、学習支援など民間のNPOなどに支えていただいている活動を支援すること、寄り添い型の支援体制を強化するよう求めました。

緊急事業が開始 (1面参照)



## 3. 都市公園の運営管理について

- (1) 住民の意見をもとに地域特有の公園管理に取り組む考え
- (2) 公園内でのドローンの使用許可基準を整備する考え

寄せられた声をもとに、身近な都市公園の管理について、公園愛護会の活動を支えるために、茅ヶ崎市などでの携帯端末を活用した事例を紹介し提案。また現在禁止となっているドローンを活用した撮影の許可基準を整備するよう求めました。



## 令和3年度スタートした春田の実績



### 地域コミュニティ協議会のデジタル化が推進

令和3年3月議会で提案した「コミュニティ活動支援システム整備費」が6月議会で予算化され、地域コミュニティ協議会へタブレット端末の配備やクラウドサービスを導入することが決定しました。

### サポート地区のエリアマネジメントに市民の声を反映する事業が開始!

令和2年9月議会で、サポート地区のまちづくりについて、市民や企業が参画して都市開発を行う具体的なしくみづくりを提案し、新規事業として開始されることになりました。



### 生活困窮者への支援充実(家計相談)が開始

これまで高松市では未実施であった「家計相談事業」を4月から開始しました。平成28年12月議会で一般質問として取り上げ継続して訴えてきました。そして今、コロナ禍にあって、暮らしの再建に対する支援の必要性が増していることから、令和2年9月議会で実施を強く求めていました。



### 「最後まで自分らしく」生きるために人生会議をはじめようパンフが完成

平成30年6月定例会で、医療や療養・介護について、患者や家族と医療従事者や関係者が事前に話し合うアドバンス・ケア・プランニング(A・C・P)の重要性を訴え、家族だけではなく地域全体で取り組むよう具体的に訴えていました。

